



THE POWER OF TECHNOLOGY

Iris M™ + Stereo Vision は2台のカメラを搭載した、全方向(3次元)の振動測定を同時に行うことができるシステムです。たった1回のデータ取り込みで、マーキングしたほぼすべての波形と周波数データを取得します。この多次元測定は、1つのシステムとして使用できるように設計されており、単軸振動試験で発生する過大または過少評価の問題を回避するのに役立ちます。Iris M + Stereo Vision は、振動の可視性と計測の効率性を高め、1回の計測で振動のパターンやトレンドだけでなく、今まで捉えられなかった設備の振動を計測することが可能です。

1台のシステムで 全視野撮影、多次元振動計測、データ化を実現

- 1つの視野で多点測定
- 振動パターン、トレンド、振動伝搬を全視野で確認
- 現場でのセットアップ時間短縮で汎用性が向上
- 自動で即データ表示
- 多次元データの同期と一元管理
- 増幅処理による設備の振動を具現化
- 3軸センサーより低コスト





FEATURES

LIVE MOTION AMPLIFICATION®

振動をリアルタイムで可視化する機能で即座に状態を把握することが可能。

振動波形データの表示

振幅、スペクトラム、オービットの各種波形データを同時に複数表示することが可能。

スタビライザー

デジタルスタビライザーによってカメラのブレを補正する機能。

データの出力

振幅、スペクトラム、オービットの各種波形データを.csvファイルとして出力が可能。

周波数フィルター

撮影した映像にバンドパス、バンドストップ、ローパス、ハイパスフィルターの処理が可能。

モーションマップ

特定振動数の振動強度マップを表示。

周波数の自動選択機能

振動が大きい周波数等を自動でリスト化し、フィルタリングを簡易化する機能。

3D測定

測定値は、波形およびスペクトラムプロットの3次元(X、YおよびZ方向)での表示が可能。

TRANSIENT MOTION AMPLIFICATION®

移動する対象物を振動増幅させる機能。

移動する対象の軌道を表示

移動する対象物の軌道を表示させる機能。

映像レポートの注釈

映像レポート内に、文字、図形、振動グラフなどを表示させてmp4のエクスポートが可能。

画面の分割表示

振動が可視化される前と後の比較映像を同時に再生可能。

SPECIFICATIONS

レンズ

12.5mm、25mm、50mm 各2個
*各カメラに合わせて調整されています

振動増幅倍率

1~500倍

サンプルレート

通常180fps (HD撮影時)
最大1,300fps (低解像度撮影時)

撮影可能な最小変位

1mの距離から50mmレンズ、12.5mmレンズで撮影した場合
15.2 μ m

映像の再生速度

1fps~4倍速

USB3ケーブル

3m x 2本

周波数範囲

通常0Hz~90Hz (180fps撮影時)
最大650Hz (低解像度、1,300fps撮影時)